

佐世保市子ども・子育て会議 第1回分科会 【検討作業の概要】

●佐世保市子ども・子育て会議分科会の設置

子どもと子育てに関連する各分野の専門家、学識経験者、公募市民等で構成する市の附属機関である「佐世保市子ども・子育て会議」において、子どもと子育てに関する課題分析や計画内容について議論を行うにあたり、より多くの意見等を引き出すなど会議の活性化に資するよう、下記の3つのテーマに係る分科会を設置し、検討を進めることとしています。

＜第Ⅰ分科会＞ 母子保健の推進と安心な育児環境の充実

保護者が安心して妊娠・出産・子育てができ、子どもが健やかに成長できるように、母子への切れ目ない支援、育児不安の軽減、子どもの療育と発達支援、経済的支援の充実など必要な取組み等について協議・検討する分科会

＜第Ⅱ分科会＞ 地域での子ども・子育て支援

子育て家庭が、地域で支えられながら楽しく子育てできるように、地域における子育て支援の充実や子どもの健全育成など必要な取組み等について協議・検討する分科会

＜第Ⅲ分科会＞ 幼児教育・保育の充実

子どもが充実した幼児教育・保育サービスを受けられ、また、保護者が子育てと仕事を両立できるように、必要な取組み等について協議・検討する分科会

●第1回分科会の開催状況

	開催日時	出席委員数	場所
(Ⅰ)母子保健の推進と安心な育児環境の充実	平成31年2月7日(木) 19時～21時	7名	中央保健福祉センターすこやかプラザ 6階研修室2
(Ⅱ)地域での子ども・子育て支援	平成31年2月7日(木) 10時～12時	5名 (1名欠席)	中央保健福祉センターすこやかプラザ 6階研修室2
(Ⅲ)幼児教育・保育の充実	平成31年2月6日(水) 19時～21時	5名 (1名欠席)	中央保健福祉センターすこやかプラザ 6階研修室1

佐世保市子ども・子育て会議 委員名簿(分科会用)

委員については平成31年1月29日現在

No.	分科会	分類	所属団体等	役職名等	委員名	その他役職
1	会長	学識経験者	長崎短期大学	副学長	川原 ゆかり	会長
2	①母子保健の推進と育児不安の軽減 (7名)	学識経験者	長崎国際大学	社会福祉学科 講師	安藤 佳珠子	分科会長
3		医療関係	佐世保市医師会(小児科医会)	いけだ小児科 院長	池田 修三	
4		子育て支援団体	佐世保市民生委員児童委員協議会連合会 (主任児童委員部会)	副部長	樋渡 尚子	
5		関係団体	自閉症親の会佐世保地区		田吉 春美	
6		関係団体	長崎県佐世保こども・女性・障害者支援センター	所長	樋口 昌巳	副分科会長
7		市民公募	子育て中もしくは子育てに関心がある市民		糸永 真利子	
8		市民公募	子育て中もしくは子育てに関心がある市民		佐藤 沙織	
9		②地域での子ども・子育て支援 (6名)	子育て当事者 (保護者など)	佐世保市PTA連合会	副会長	山口 豊
10	労働者関係		連合長崎佐世保地域協議会	議長	菊永 昌和	
11	保育関係		佐世保市学童保育連絡協議会	副会長	中尾 信子	
12	小学校		佐世保市小学校長会	佐世保市立天神小学校長	蒲川 法子	副分科会長
13	子育て支援団体		子育てサークルネットワークさせぼ	顧問	古市 泰子	
14	市民公募		子育て中もしくは子育てに関心がある市民		永野 智子	
15	③幼児教育・保育サービスの充実 (6名)	企業関係	佐世保商工会議所	議員	小川 寛	分科会長
16		保育関係	佐世保市保育会	総務委員	和田 かおる	
17		保育関係	佐世保私立幼稚園協会	会長	朝野 卓也	副分科会長
18		保育関係	長崎県子育て支援協会	会長	仲尾 勝利	
20		子育て当事者 (保護者など)	佐世保私立幼稚園PTA連合会	副会長	中根 悠子	
21		市民公募	子育て中もしくは子育てに関心がある市民		津田 沙耶	
		合計	20名			

・事務局: 子ども未来部子ども政策課

●分科会における検討手順

第1部【全体説明】

■会議進行の前提として、部会の趣旨や作業の進め方を理解する。

- ・趣旨説明
- ・作業方法の説明
- ・自己紹介



第2部【グループワーク】

■事前配布シートなどを基に現状課題を整理し、それに対する方策案を検討する。

- ・班別の現状課題の整理および確認
- ・追加の現状課題の検討
- ・現状課題に対する方策案の意見交換

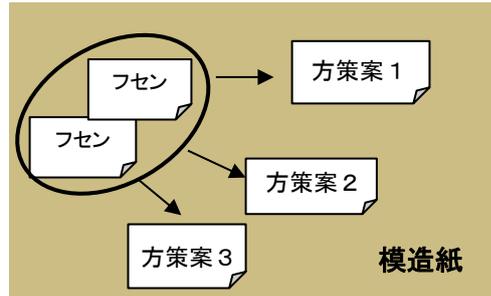
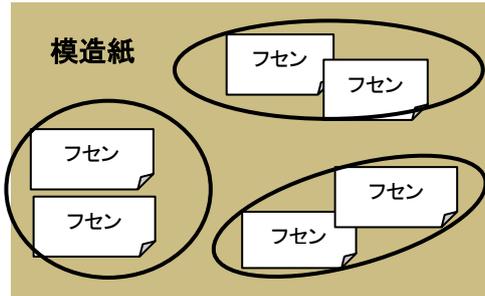
■子ども・子育てに関する課題

公園が
少ない

保育士
不足

- ①課題を書いたフセンを模造紙に貼ります。
- ②フセンに書かれた内容を確認しながら、関連する内容をグループ化してまとめます。
- ③グループ化された課題に対して解決に向けた方策案を検討していきます。

模造紙



第3部【まとめ】

■全体で作業成果の確認を行う。

- ・グループワークで検討された課題や方策案についてファシリテーター及び分科会長による確認

●分科会における検討作業の内容

※グループワークで検討された課題や方策案に関し、模造紙上での作業内容（抽出された意見）を資料として整理したものです。

(1) 母子保健の推進と安心な育児環境の充実

妊娠・出産	
現 状・課 題	課題解決に向けた方策案
<ul style="list-style-type: none"> ・不妊治療 ・里親 希望 ・計画、準備なし ・妊娠中からの行政とのソフトな関係 ・産休、育休等で休む間に交代できる人材が少ない(即戦力はない) 	<ul style="list-style-type: none"> ・若年妊娠—高校生の教育 ・父親に育休を1か月必ず与える ・学校での教育



子育て支援	
現 状・課 題	課題解決に向けた方策案
<ul style="list-style-type: none"> ・母だけの養育はムリ ・1人目の子育てで手一杯ではなくて、2人目の壁の本当の敵は旦那 ・最近行政の支援が手厚く感じるけど、6か月過ぎくらいから何も無い(離乳食の進み具合など) ・制度の利用 ・父親が仕事を休んだり、早く帰れる ・子どもと過ごす時間が十分にとれる ・病児保育をさがしまわる ・障がい児を抱えている親 ・行き場が極端に少ない ・母子手帳交付時の養育確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・実家に気軽に甘えるような相談やサポート ・企業への働きかけ(認定制度) ・企業が子育て支援サポートに短時間でも協力 ・核家族世帯で親族が遠方の家庭への支援 ・祖父母代わりの支援者 ・企業の協力外出 ・企業の協力育休 ・育休や有給等を取りやすい企業へのサポート ・子育てサポートボランティア ・ショートステイの気軽な利用(里親的)

虐待

現 状・課 題	課題解決に向けた方策案
<ul style="list-style-type: none"> ・虐待が疑われるケース ・家庭の状況に不安のある学生 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政と学校、医療の連携 ・社会福祉士を雇う ・心理士の養成 ・教育—医療—福祉 連携 ・井戸端会議 ・いろいろな悩み事を共用できる、話せるおじいちゃん、おばあちゃん

行政サービス

現 状・課 題	課題解決に向けた方策案
<ul style="list-style-type: none"> ・母子手帳の交付を土曜、日曜に(月1回)でもしてもらおう ・平日に有給を取りにくい職場 ・ノロ、ロタのワクチンを注射しますか?と聞かれますが、高くてできません ※ロタ=ロタウイルス(嘔気・嘔吐と下痢を主症状とする急性胃腸炎の原因ウイルスのひとつ) ・ロタ、ムンプス等の無料化 ※ムンプス=おたふくかぜ ・保育料高い ・障害をもった子どもの親は働けない ・子育て支援は私が子育てしている頃より増えている ・保育園等から求められるものと、保健医療で認められるものの差 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスを実施してくれれば良い ・特別児童扶養手当での充実 ・障がい児をもっている親のあずかり場所

障がい支援

現 状・課 題	課題解決に向けた方策案
<ul style="list-style-type: none"> ・発達障がい児への支援(診断、療育) ・障がいのことをどこに聞けば良いのかわからない(不安でたまらない) ・発達や心の問題をかかえる児童が相談できるファースト ・コンタクトをとれる所が少ない ・障害の子どもを預かるのが大変と言われている。大変なのは本人、家族なのに… ・子ども発達センターの初診問題 ・学校に付き添うのがとても大変 ・医療的ケア児への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門の先生の育成(国をあげて) ・専門家を増やす ・サロンを増やす ・子ども発達センターの待ち時間の相談(診療以外)

情報	
現状・課題	課題解決に向けた方策案
<ul style="list-style-type: none"> ・SNS、ICTでの情報、啓発 ・地域子育て情報をタイムリーに細かい事も知ることができる ・発達センターの利用について、地元の人が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・市がサイト運営(委託)

不登校	
現状・課題	課題解決に向けた方策案
<ul style="list-style-type: none"> ・不登校児の居場所 ・不登校の児童のケア 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童 精神科医 子どもも親も相談できる場所 ・両親への教育の場、相談の受け皿、小児精神の有スキル者の育成 ・子どもの心の診療医発掘

居場所	
現状・課題	課題解決に向けた方策案
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども食堂みたいな子どもが食べる、遊べる、学べる所 ・子どもたちの遊び場が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場のある全天候型の子どもの遊び場



(II) 地域での子ども・子育て支援

地 域	
現 状・課 題	課題解決に向けた方策案
<ul style="list-style-type: none"> ・公園の利用のルールを！ ・共働き家族の増加 ・地域の人と子どもたちのつながりが少ない ・地域内でのサービスが少ない ・地域団体とのつながりが薄い ・子どもが体調を崩したとき、少しみてくれる人がいない ・体調不良の時の迎えができない家族 ・地域の子育て親子に出会えない ・外に出てこない保護者をどう外に出し、参加させるか ・外に出て来たい(1部の人で盛り上がらない)と思うようなイベントをする ・サークルの存在は知っていても行きにくい ・支援センターでグループができていたり入りにくい ・子育ての悩みを話せるコミュニティが身近にない、入っていけない ・「児童公園」の看板に(他人の迷惑になる野球、サッカー禁止！)誰のための公園？ ・子育ては母親だけが頑張るものではなく、地域の方の協力・見守り・声かけがあって成り立つもの(実体験から) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体での子育て ・コミュニティスクール(保幼を含めた) ・地域人材(見守り) ・地区自治協の活用 ・地域人材(民生児童委員等)の活用(相談) ・社会体育の指導者と親と学校の定期連合会 ・子育て支援センター等、「地域でのつながり」の役割について、健診などの際に紹介 ・参加しやすい形をつくる ・公園利用のルールづくり(ボール遊び) ・地域での子育て、地域を元気にするコミュニティスクールが必要では？ ・親としての教育 重要 親育ち ・学習ボランティア、子ども食堂の充実 ・相互理解(夫・妻・子・隣人・指導者)の教育が足りない！ ・子育てが何よりも優先されるという意識づくり(社会全体が)

学 童	
現 状・課 題	課題解決に向けた方策案
<ul style="list-style-type: none"> ・長期休みが利用できる児童クラブ ・長期休業中の子どもの居場所 ・施設と働く環境の改善 ・保育料 児童クラブも無償化の検討 ・放課後、安心してすごせる場所の確保 ・空き教室の活用 ・学童を充実する必要がある ・学童に行きたくても行けない子の存在(留守家庭) ・放課後、学校で子どもがすごす(学童)場合のルールづくり等(管理) ・余裕教室 教育委員会との連携 ・5、10年の先を見据えた施策の必要性 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童センターの利用拡大(しぼりをなくす) ・学校⇄学童の連携推進のための制度の整備 ・どの子も利用できる児童クラブ ・児童センターのしぼりが強いので緩くしてほしい ・余裕教室、ルールづくりで解放を！ ・保育料(安く)一律にする(佐世保市として) ・負担の軽減 ・空き教室等の活用 ・児童クラブ初任者研修の充実、公共施設の開放(余裕教室)

講座・支援事業

現 状・課 題	課題解決に向けた方策案
<ul style="list-style-type: none"> ・離乳食講座がすぐ一杯になり実習に参加できない ・支援事業を広める方法を考える必要がある ・子育て支援センター・ファミサポ等の役割やサービスについて、情報発信 ・子ども子育て支援はしてほしいが、子育て支援拠点への ・参加は希望していないような現状 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援拠点がどういう所(内容+対象者)を知ってもらう必要がある ・人気講座の枠の拡大内容の発信(HP等) ・実際に利用している方から発信してもらう・仕組みづくり ・口コミ大きい ・支援事業のPRを！！ ・相互理解の大切さ・講座ほしい ・OBママで育児サークルへ(cooking)親子調理出前講座をする

夫と妻 嫁 VS 姑

現 状・課 題	課題解決に向けた方策案
<ul style="list-style-type: none"> ・夫は言わないと家事も育児もしない ・して欲しいことをしてないのに、「あー片付けてくれたの助かった」と言ってみる ・夫に広場に行かせたら、女性ばかりで居づらい(当たり前だろーと妻が叫ぶ) ・夫だけで行かせずママ友の夫も誘い夫の仲間を増やす ・夫の両親が夫をまだ子どもと思っている ・夫の家事(洗い物)の後片付けが大変です ・夫をまずはほめる。大変なら自分で頑張るしかない ・夫が帰ってこない ・いくつになっても子どもは子ども、夫をだしにたくさん貢いでもらう！ ・おいしいご飯をたくさんつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・親になるための教育が必要 ・十代・未婚での出産 ・男女のマッチング 婚活キューピットの普及(コミュニティ協働推進課)



(Ⅲ) 幼児教育・保育の充実

子育て環境	
現 状・課 題	課題解決に向けた方策案
<ul style="list-style-type: none"> ・保育士不足 ・保育士の確保に四苦八苦 ・乳幼児の健康を補償→看護師の必要性 ・緊急時にも預けられる ・保育所での看護師の配置に問題がある ・日曜、祝日等に預ける施設がない・10連休はどうするの ・延長保育料金が高く、どうしても！の時しか利用できない ・幼児教育の無償化・本当に少子化対策の一助になるの ・教育費の無償化 ・子どもを気軽に預けられる場所 ・公園や子どもたちに関する施設をつくる時に、子育て世代の意見を聞いてほしい ・卒園後も1～2年生くらいまで学童を受け入れてほしい ・車を利用する子育て世代の補助をしてほしい(駐車場料金の負担) 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育料や育児に関わる経済面での補助の充実 ・保育士資格の見直し ・一時保育の充実 ・子どものことを気軽に相談できるサポート ・オフィシャルではない情報でも、良い情報はあ→どうやって得るか？



ワークライフバランス	
現 状・課 題	課題解決に向けた方策案
<ul style="list-style-type: none"> ・出産のための退社 ・子育ての喜び ・夫婦で育児について共に理解を深められる場(講座やイベント) ・企業・社会に妊娠・出産・育児の理解を深めてもらうこと・産後の仕事復帰のしやすさ ・夫の育休が取りやすい環境づくり ・経営者の理念 啓発 ・家族として、従業員と社員 接する 	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業はじめ経営者への啓発 ・リモートワーク(会社以外の勤務形態)の推進 ・従業員へ有益な制度利用→経営者から利用を促してほしい



病児保育

現 状・課 題

- ・虐待防止
- ・母親が体調を崩して、頼れる身内がないとき、すぐにサポートしてくれるサービスがあると嬉しい
- ・病気の子ども、預かったら親は働けるが
- ・子どもが病気のため欠勤
- ・アレルギーのこども
- ・食事アナフィラキシー

課題解決に向けた方策案

- ・子ども看護介護休業法等の活用
- ・子どもの看護休業制度普及
- ・育児・介護休業制度の普及



情報発信

現 状・課 題

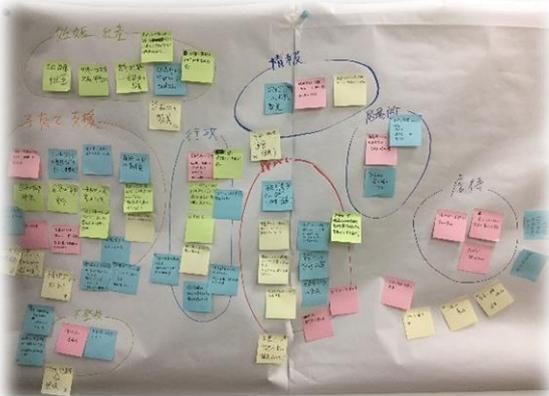
情報発信の手段

- ・市外からの方
- ・戸籍課
- ・キラッとせぼを活用！？
- ・スマホで簡単に見ることができる
- ・字が少ないサイト⇒マンガで？
- ・産んですぐは活字が読めない

(参考) 各分科会 模造紙まとめ

(第Ⅰ分科会)

(第Ⅱ分科会)



(第Ⅲ分科会)

